

教科	科目	単位	学年	教科書
芸術	美術 I	2	1	高校美術 1 (日文)

## 1. 学習目標

美術を学ぶ意義を理解し、幅広い表現と鑑賞の学習に積極的に取り組むことにより、基礎的な能力や応用力を伸ばし、生涯を通じて美術を愛好する態度を身に付ける。

## 2. 学習の重点

- ・基礎的なことから始め、独自の表現ができることを目指して進めます。
- ①感覚的な形の見方、捉え方を修得することを目指します。
- ②基本的な描写力を身に付けることを目指します。
- ③感性を豊かにし、独自の形を創り出すことを目指します。

## 3. 学習計画

学期	月	学習内容	学習のねらい
一学期	4	オリエンテーション 〈デッサン〉 トーン (階調) 演習 〈デザイン〉 基礎デザイン	美術を学ぶ意義を理解し、1年間の学習を見通す。 <input type="checkbox"/> 描くときのものの見方を身に付け、表現活動の基礎を固める。 ○ 描くときの見方や明暗の表現の演習。 <input type="checkbox"/> 色立体の演習を通して、色彩の理論の学習を深める。 ○ 色立体の立面図と断面図の着色演習 ○ トーンとイメージ ○ 色の性質と感情 ○ 色の対比
	5		○ 色彩調節 ○ 構成美の三要素
	6		
二学期	7	〈デザイン〉 応用デザイン	<input type="checkbox"/> 平面構成の制作 (基礎デザインの応用) ○ 諸条件による平面構成・構成美の三要素の考慮 ○ サザエやアワビの貝殻・コカコーラのびんなどのモチーフによる平面構成の制作 ○ 色面分割 ○ 色彩計画
	9		
三学期	10		
	11	〈絵画〉 油彩画	<input type="checkbox"/> 油彩画の制作 (基礎デザインの応用) ○ F 6 号ボードキャンバスに油絵の制作演習 ○ 水性油絵の具 (DUO) による制作
三学期	12		
	1		
三学期	2	〈鑑賞〉 ・教科書	<input type="checkbox"/> 教科書の学習を通じて、鑑賞の能力と美術への理解を深める。

## 4. 課題・提出物

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・プリントによる課題やスケッチ等も評価の対象となります。スケッチブックに学習の成果をまとめる形で、順序よくのりで貼り綴り込んでいきます。</li> <li>・課題ごとに作品の提出期限を指示します。特に欠席をした場合などは注意し、忘れずに提出してください。</li> </ul> |
|---|

## 5. 学習の評価

関心・意欲・態度	美術を学ぶ意義を理解し、表現や鑑賞の学習に積極的に取り組み、美術を愛好する態度を身につけることができたか。
芸術的な感受や表現の工夫	対象を自分の目で見て、感じとり、自分の考えを持ち、工夫して創ることができたか。
創造的な表現の技能	それぞれの課題のねらいを理解し、用具や材料を適切に使って、自分が意図したものを表現することができたか。
鑑賞の能力	さまざまな時代や地域の作品を鑑賞し、そのよさや美しさを味わうことができたか。
以上の観点を踏まえ ・授業の取り組み（表現や鑑賞への姿勢、創意工夫の過程など） ・プリントによる課題、鑑賞プリントなどの内容 ・提出作品の内容、独自性、完成度 などから、総合的に評価します。	

## 6. 学習に際して

- |  |
|--|
| <p>絵を描く能力は、持って生まれた才能だと思っている人もいますが、ポイントを掴んで練習すると、上手く描けるようになります。授業ではゆっくりと楽しみながら学習しますが、個性や創造性の育成を尊重するような指導に配慮いたします。</p> <p>また、美術の価値は上手いかどうかだけではありません。ものごとに対して自分の考えを持ち、独自の表現ができることを心がけてください。</p> |
|--|